

# 2021 年度 学修活動に関する調査 結果まとめ (概要)

対象者数： 2021 年度在籍の学部生（計 5,621 名）

回答数（率）： 1,627 名（回答率 28.9%）

1 年生：724 名（回答率 54.4%）

2 年生：320 名（回答率 23.3%）

3 年生：271 名（回答率 19.3%）

4 年生：312 名（回答率 20.7%）

## I. アンケートの概要

調査は、2022年1月から2月にかけて全学生を対象にユニバーサルパスポートのアンケート機能を用いて実施した。学修時間（履修科目などの授業・課題や試験にかかわる学習だけを指すのではなく、大学生活の中の「学びを得ようとする活動」全体）と各学習活動の時間割合、学修における満足度とその要因、等を求める設問から構成されている。「学びを得ようとする活動」の категорияは以下の通りとした。

A:「授業」…大学で開講されるオンラインを含む科目（講義、実技、実習、演習（ゼミ））

B:「学外実習」…福祉施設、教育現場、医療機関などで経験する実習

C:「授業時間外学習」…授業外時間を活用した予習・復習、発表準備等のための話し合いなど

D:「部・サークル等」…部・サークル活動（体育会系・文化系等、主としてボランティアを行う団体を除く）

E:「社会経験」…ボランティア、アルバイト、インターンシップ、海外研修・留学

F:「スキルアップ」…個人的な目標（資格・免許の取得や試験・検定合格等）のための学習、教室・講座・研修等への参加

G:「交流」…友人、仲間、後輩、先輩、教職員等との話し合い・交流

## II. 結果

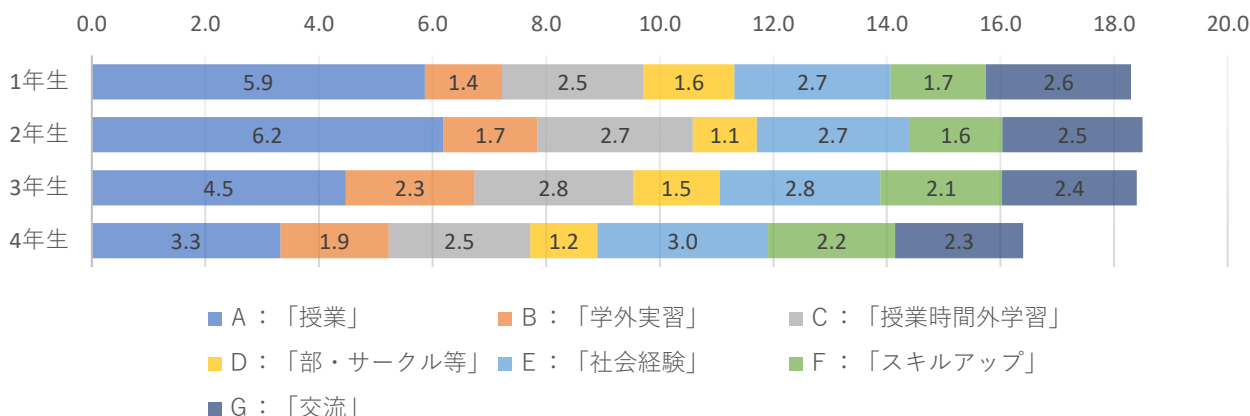
### 1. 学修活動（学びを得ようとする活動）にかかる時間について

1週間の学修活動時間の平均値（時間）

| 1年生  | 2年生  | 3年生  | 4年生  |
|------|------|------|------|
| 18.3 | 18.5 | 18.4 | 16.4 |

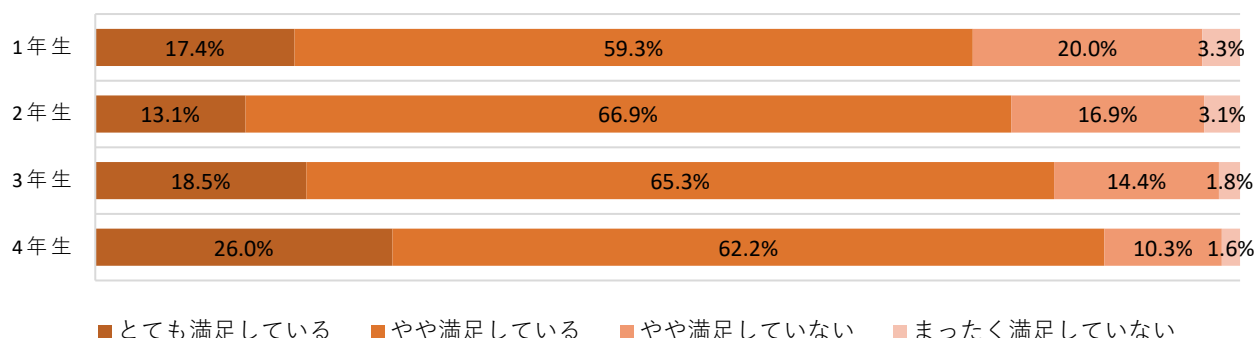
学修活動（学びを得ようとする活動）の時間配分

（時間/週）

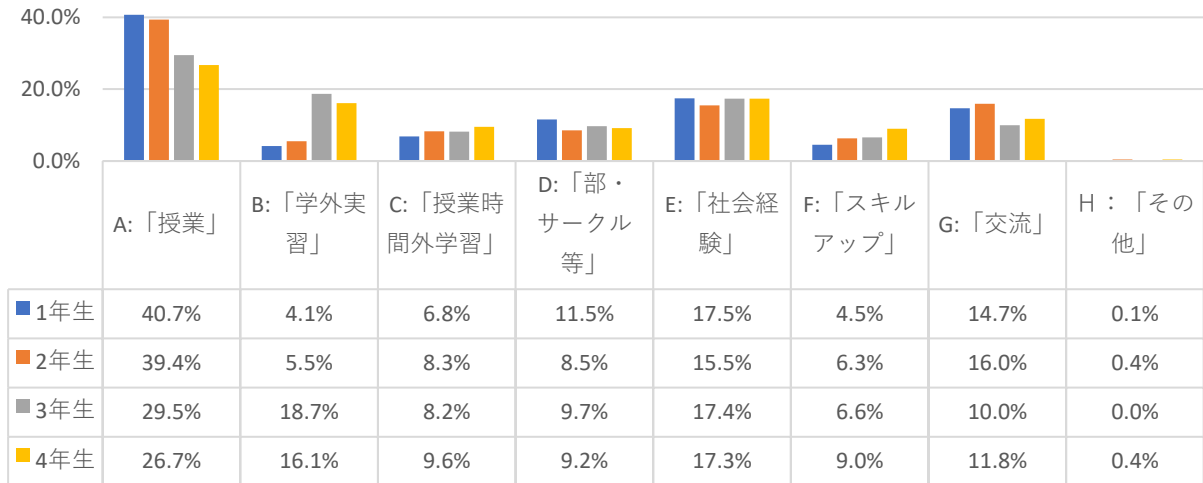


### 2. 学修活動（学びを得ようとする活動）の満足度について

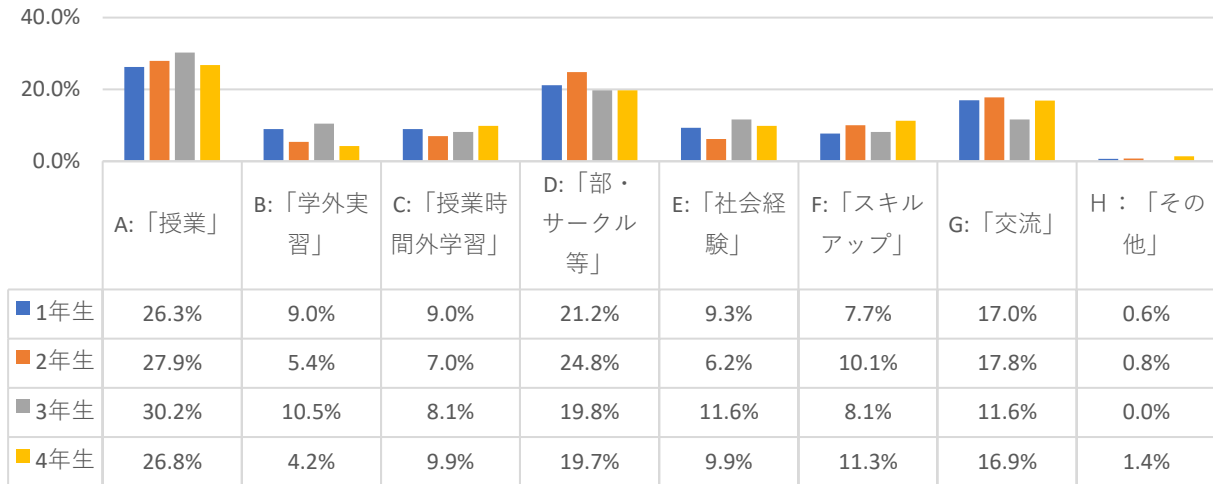
全体的な満足度



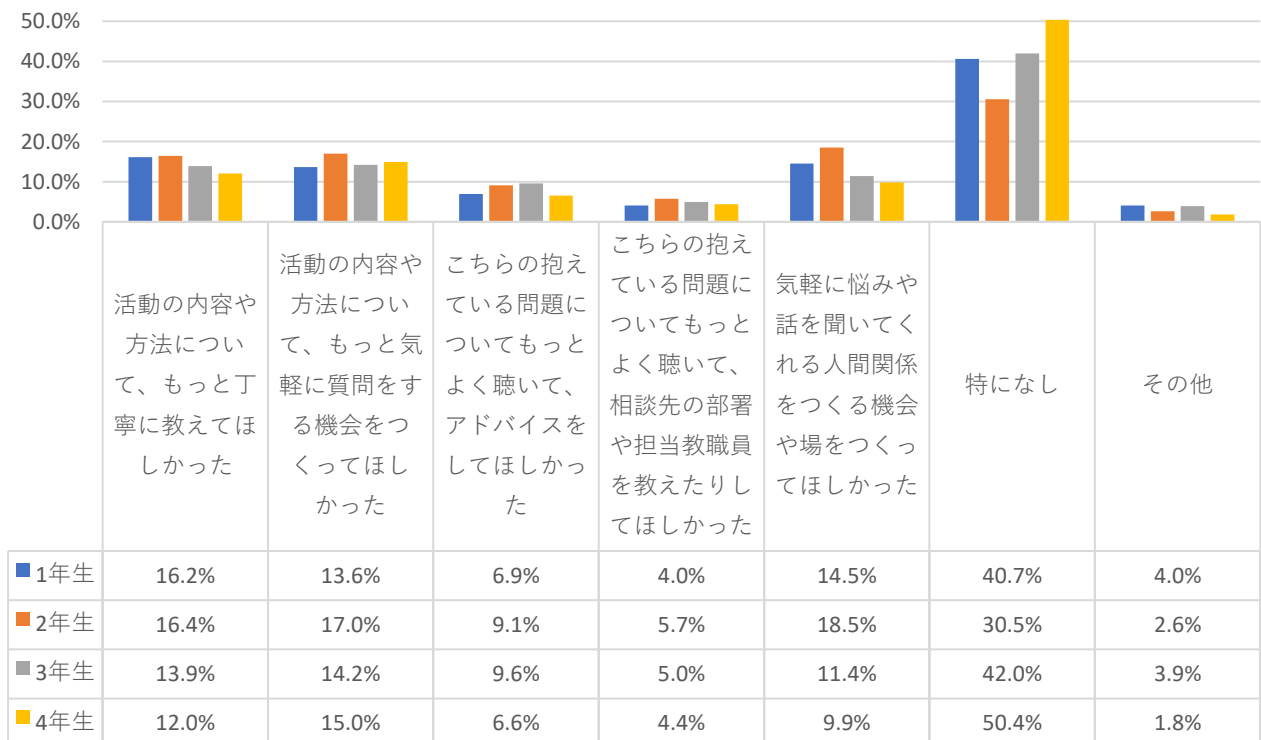
### 満足感につながった学修活動（複数選択可）



### 満足感が得られなかった活動（複数選択可）



### 満足感が得られなかった理由・今後の要望（複数選択可）



### 自由記述から（要点抜粋）

- ・オンライン授業の増加
- ・コロナ感染のリスク
- ・実習の中止
- ・サークル活動の中止
- ・空き時間に友人と話したり相談したりできる機会や場所の減少

### 3. まとめ

各学年とも、「授業」以外に様々な学修活動を行っていることがわかった。各活動の時間配分は、「授業」の割合が最も高いが、次いで「社会経験」となっており、学生は各種の社会実践を「学び」として重視していることがうかがわれた。

学修への事前期待に対しては、コロナ禍のさなかでも「授業」に満足した旨の回答が多かったが、満足が得られなかった活動の筆頭も「授業」であった。このことは、全体的な満足感の向上にはやはり「授業」が大きく影響することを示している。

満足が得られなかった要因として、1・2年生は人間関係を作る機会が欲しいという回答が多かった。一方、満足が得られなかった要因として、選択肢の中では「特になし」が最も多く、また自由記述でも「満足が得られなかった要因が特になし」という回答が多かった。この結果から、コロナ禍ゆえの不自由さをある程度受け入れている学生も少なくないことがうかがわれた。

### <2021 年度 設問一覧>

「学修活動」とは、履修科目などの授業・課題や試験にかかわる学習だけを指すのではなく、大学生活の中の「学びを得ようとする活動」全体を指します。ここでは、「学修活動」を次の 7 つの領域（A～G）に分けています。これらについて、日頃どんな活動をしているかを思い浮かべながら、下の 1. ～ 3. の設問にお答えください。

A:「授業」…大学で開講されるオンラインを含む科目（講義、実技、実習、演習（ゼミ））

B:「学外実習」…福祉施設、教育現場、医療機関などで経験する実習

C:「授業時間外学習」…授業外時間を活用した予習・復習、発表準備等のための話し合いなど

D:「部・サークル等」…部・サークル活動（体育会系・文化系等、主としてボランティアを行う団体を除く）

E:「社会経験」…ボランティア、アルバイト、インターンシップ、海外研修・留学

F:「スキルアップ」…個人的な目標（資格・免許の取得や試験・検定合格等）のための学習、教室・講座・研修等への参加

G:「交流」…友人、仲間、後輩、先輩、教職員等との話し合い・交流

設問 1. このアンケートを回答している日の前の 1 週間において、A～G の「学修活動（学びを得ようとする活動）」の活動時間の合計はおおよそ何時間になるか、一番近い選択肢をひとつチェックしてください。＜選択必須＞

（選択肢）

5 時間未満（1 日平均 1 時間未満）

10 時間程度（1 日平均 1 時間くらい）

15 時間程度（1 日平均 2 時間くらい）

20 時間程度（1 日平均 3 時間くらい）

30 時間以上（1 日平均 4 時間以上）

設問 2. 今年度中の（2022 年 3 月までの予定で結構です）、A～G のすべての活動時間の合計を「100%」とした場合、A～G のそれぞれの活動時間はおよそ何%となるか、一番近い選択肢をひとつずつ選んでください。＜選択必須＞

※必ず A～G のすべてについて選び、それぞれの%数の合計が 100%になっているか確認してください。

| (例) | A   | B  | C   | D   | E   | F  | G   | 合計   |
|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|-----|------|
|     | 40% | 0% | 10% | 10% | 20% | 0% | 20% | 100% |

設問 3. 「学修活動（学びを得ようとする活動）」の満足度についてお聴きします。

(1)あなたは今年度の大学で行ったさまざまな「学修活動（学びを得ようとする活動）」について、全体として満足していますか。  
一番実感に近い選択肢ひとつにチェックしてください。＜選択必須＞

(選択肢)

- とても満足している
- やや満足している
- やや満足していない
- まったく満足していない

(2) (1)の設問で「とても満足している」「やや満足している」を選択した方にお聞きます。

「学修活動（学びを得ようとする活動）」のうち、A～G のどの領域にかかわる活動や経験が“満足感につながった”と思いますか。1 つ以上 3 つ以内を選んでチェックを入れてください。A～G 以外にある方は、H:「その他」にチェックを入れ、下の自由記載欄にその内容をお書きください（全角 200 文字以内）。＜選択必須＞

(3) (1)の設問で「やや満足していない」「まったく満足していない」を選択した方にお聞きます。

1) 「学修活動（学びを得ようとする活動）」の中で、満足が得られなかったような活動があった場合は、A～G のうち 1 つ以上 3 つ以内を選んでチェックを入れてください。A～G 以外にある方は、H:「その他」にチェックを入れ、下の自由記載欄にその内容をお書きください（全角 200 文字以内）。＜選択必須＞

2) 満足が得られなかった理由として、以下にあげるような「もっとしてほしかったこと」があれば、（H:「その他」を選んだ方は、それを含めて）そのすべてにチェックを入れてください（1 つ以上。複数選択可）。＜選択必須＞

(選択肢)

- 活動の内容や方法について、もっと丁寧に教えてほしかった
- 活動の内容や方法について、もっと気軽に質問をする機会をつくってほしかった
- こちらの抱えている問題についてもっとよく聴いて、アドバイスをしてほしかった
- こちらの抱えている問題についてもっとよく聴いて、相談先の部署や担当教職員を教えたりしてほしかった
- 気軽に悩みや話を聞いてくれる人間関係をつくる機会や場をつくってほしかった
- 特になし
- その他